

令和 2 年第 1 回大河原町議会定例会（3 月会議）

総 括 質 疑

No.	質問者	質疑事項及び要旨															
1 番	伊 勢 敏	<p>1. 財政運営に関する町長の姿勢</p> <p>財政運営に関する町長の姿勢について伺う。</p> <p>平成 30 年度及び令和元年度の予算総括質疑において、プライマリーバランスを重視した財政運営を求めたが、総括質疑では再質問できないこととなっており、議論が深まらなかったゆえに、改めて聞かせて頂きたい。</p> <p>平成 30 年度の総括質疑に対する答弁では、世代間の負担の平準化というもっともらしい理由のもと「プライマリーバランスの黒字か赤字かで一喜一憂すべきではない」と述べ、現世代の意向を将来世代に押し付けるという過ちを犯し、また、令和元年度の答弁では、「赤字国債など経常的な経費において起債が可能な国に対し、地方自治体の地方債の発行は将来世代の利用も見込まれる投資的な事業に限定されるという違いがあることから」などという理由に当たらないことを理由として、「地方財政においてプライマリーバランスは主要な指標ではない」と述べ、また、地方債には世代間による負担の平準化とともに有利な地方債の活用は地方の財政運営において欠かせないものであり柔軟な対応が求められることを理由に、つまり、借金を当然視し、「プライマリーバランスの目標年度の設定は考えていない」と述べるなど、プライマリーバランスを軽視する考えが披瀝された。</p> <p>因みに、宮城県知事村井嘉浩氏の第 1 期目の 1 番目の公約がプライマリーバランスの黒字化であったことと比べ、このような甘い考えによる財政運営は将来に禍根を残すことを、まずは指摘しておきたい。</p> <p>つぎに、平成 29 年度当初予算ベースで約 8,500 万円の赤字だったプライマリーバランスは、決算ベースでは約 3 億 1,900 万円の黒字となるなど、平成 29 年度までは決算でもプライマリーバランスは黒字であった。</p> <p>しかし、平成 30 年度は当初予算ベースでの赤字が約 4 億 2,100 万円に膨らんだため、決算ベースで約 9,062 万円の赤字に転じることとなった。</p> <p>そこで伺う。当初予算ベースで赤字が 7 億 2,000 万円とさらに膨らんだ令和元年度のプライマリーバランスの決算におけるプライマリーバランスの概算見通しはどうか、伺う。</p> <p>令和 2 年度も当初予算ベースでプライマリーバランスが 7 億 5,934 万円と膨大になっていることが、令和 2 年度予算の最大の特色の一つと思われるが、この状況をどのように捉え、どのように対応してゆく考えなのか、伺う。</p> <p>当初予算ベースで大幅な赤字が続き、決算ベースでも赤字になった昨年度を踏まえ、また財政調整基金の減少並びに地方債の発行残高の増大が続くという厳しい財政状況から、今こそ、当初予算ベースでのプライマリーバランスを重視する、あるいは、一定の歯止めをかけることにより健全な財政運営が求められるのではないか、所見を伺う。</p> <p><参考> プライマリーバランスの推移</p> <table border="1" data-bbox="432 1722 1506 1921"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 29 年度</th> <th>平成 30 年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和 2 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算ベース</td> <td>▲約 8,500 万円</td> <td>▲約 4 億 2,100 万円</td> <td>▲約 7 億 2,000 万円</td> <td>▲7 億 5,934 万円</td> </tr> <tr> <td>決算ベース</td> <td>約 3 億 1,900 万円</td> <td>▲約 9,062 万円</td> <td>見込み額</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 公共施設等総合管理計画</p> <p>財政運営に関連し、公共施設等総合管理計画（以下「管理計画」という）について昨年に引き続き伺う。</p>		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	当初予算ベース	▲約 8,500 万円	▲約 4 億 2,100 万円	▲約 7 億 2,000 万円	▲7 億 5,934 万円	決算ベース	約 3 億 1,900 万円	▲約 9,062 万円	見込み額	
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度													
当初予算ベース	▲約 8,500 万円	▲約 4 億 2,100 万円	▲約 7 億 2,000 万円	▲7 億 5,934 万円													
決算ベース	約 3 億 1,900 万円	▲約 9,062 万円	見込み額														

No.	質問者	質疑事項及び要旨
1 番	伊 勢 敏	<p>プライマリーバランスを考えるうえで重要な要素となる管理計画は策定後、今月で満4年経つが、具体的な取り組み方針が決まっておらず、早急な決定が求められる。</p> <p>令和元年度の総括質疑に対する答弁では、令和元年度に学校施設の長寿命化計画策定の予算を計上、役場庁舎、集会所等の施設については、現在老朽度調査を検討している状況であり、近隣市・町の状況も踏まえながら平成32年度（令和2年度）の調査策定を目指すとのことであった。</p> <p>まず、老朽度調査の検討状況を伺う。</p> <p>つぎに、財政が年ごとにひっ迫する中、本計画の具体化が急がれるところ、令和2年度予算の中に調査費が計上されていないがどういうことなのか伺う。</p> <p>本計画は、今後の財政需要を予測し、中長期の財政計画を策定するうえで極めて重要な計画である。</p> <p>本計画が策定されない限り、年度ごとの予算編成は羅針盤のない行き当たりばったりの、つまり、中央公民館の大規模改修に見られたように、国からの補助金に目がくらんでの計画性のない財政運営となり、多くの町民が不満を抱いている。</p> <p>今後、このようなことはあってはならず、そのためにも早急に本計画の具体化を策定するため、予算措置をされたいが、所見を伺う。</p> <p>3. 財政調整基金と地方債</p> <p>令和2年度の施政方針において、本年度末の財政調整基金は9億3,341万円とのことであったが、ここ5年間の財政調整基金の推移、及び、今後、新規事業を含めない現行の事業を継続した場合の5年間の財政調整基金の予測を示されたい。</p> <p>また、今後の公共施設総合管理計画において対象にしている事業の概算総額が分かれば、それらを含めた場合の長期的な財政調整基金の推移の見通しを伺う。</p> <p>次に、過去2年間に約24億円・34.6%と大幅に増加した、令和2年度末の地方債合計額は本町一般会計のほぼ1年分に相当する約87億9,000万円と見込まれているが、過去10年の推移を示すとともに、この推移に関する所見を伺う。</p> <p>また、今後の中長期的の予測を示されたい。</p>
2 番	万 波 孝 子	<p>1. 新型コロナウイルス感染予防について</p> <p>新型コロナウイルスによる肺炎が国内でも広がるなか、安倍首相は突然に全国の小中高校や特別支援学校に、全国一律の「臨時休校」方針を打ち出した。本町もこの緊急要請を受け、町内の小中学校では3月2日から休校が始まっている。町は対策会議(本部)を設置し、感染症予防の周知を徹底しているが、町民の不安に応えるためにも次の点で伺う。</p> <p>(1) 町に寄せられている相談内容と対応について</p> <p>(2) 学校現場や保護者に混乱は生じていないのか。自宅待機児童生徒への指導は。</p> <p>(3) 学童保育は、保護者へのアンケート調査を実施して児童への対応をしているようだが、保護者の要望に応えられているのか。</p> <p>(4) 妊婦や人工透析患者等へのマスク配布状況は。</p> <p>(5) 学校給食センターでは、食材の中止などで問題は起きていないのか。</p> <p>(6) 福祉施設(介護・障害者)へのマスク配布等の支援は。</p>

No.	質問者	質疑事項及び要旨
2 番	万波孝子	<p>(7) 中核病院の患者受け入れに変化は生じているのか。</p> <p>(8) 地域経済への影響をどのように把握しているか。</p> <p>(9) 対策本部の内容を町民に周知していくべきでないか。</p> <p>2. 集会所等の統廃合について 地区の人口動向等に配慮しながら統廃合などの必要性を検討していくとあるが、</p> <p>(1) 統廃合で地域のつながりがますます希薄にならないか。</p> <p>(2) 具体的にどこの集会所等を検討するということなのか。</p> <p>(3) 受益者負担の適正化とは、新たな負担を町民に強いることなのか。</p> <p>(4) 加えて、建て替えの候補にあがっている施設はどこか。</p> <p>3. 水害について 台風 19 号の経験を通じ、水害に対する備えの必要性を強調している。台風 19 号の豪雨で、白石川の最高水位は、氾濫危険水位 17.50m に対し、17.37m までに達し、辛うじて氾濫は免れた。この経験から、白石川の水位に町民は注意を払うようになったが、今後、氾濫危険水位を超える可能性は想定しているのか。併せて堤防の頂点までに達するには、最高降雨量(毎時)はどの位とみているのか。これらを町民に周知する考えは。</p> <p>4. 町立桜保育所の建設について 「町立桜保育所」の建設工事に着手し、年度内の竣工を目指すことに関して伺う。</p> <p>(1) 桜保育所整備工事費として 588,000 千円予算化されている。大規模工事となるが、入札条件については現時点でどのように考えているか。A ランク・B ランク業者も入札に参加できるようになっているか。</p> <p>(2) 併せて、現時点で町に登録している地元企業をランク毎(S, A, B, C)に示してほしい。</p> <p>(3) 町として地元企業育成の視点が、元請けだけでなく下請けにも向けられ指導しているのか。</p> <p>5. 子育て・保育について 幼児教育・保育の無償化が 2019 年 10 月からスタートした。</p> <p>(1) これに伴い、幼稚園・保育所の利用者が増加していると思うが、新年度を迎えるにあたり、各施設(幼稚園 1 ヶ所、保育所 5 ヶ所、小規模 2 ヶ所)の入所予定状況と、待機児童数の状況は。併せて、保育士は確保されているのか伺う。</p>

No.	質問者	質疑事項及び要旨
2番	万波孝子	<p>(2) 本年度は新たに民間の小規模保育事業所の開設に、県補助金 9,973 千円を含む 11,220 千円を事業補助金として予算化している。</p> <p>①事業所の概要と開設時期はいつか。</p> <p>②小規模保育事業所が1ヶ所増えることで、待機児童はどれだけ解消されるのか。</p> <p>6. デマンド型乗合タクシーについて 利用者の増加と事業経費の削減に努力していくとあるが、経費削減の努力内容を具体的に示してほしい。更なる利用者増の対策についても伺う。</p> <p>7. 旧学校給食センター等の解体工事について 旧学校給食センター解体工事費 55,000 千円、上谷町営住宅解体撤去工事費 31,500 千円がそれぞれ予算化されている。</p> <p>(1) 町内でこの解体工事に参加できる業者数は。</p> <p>(2) 町内事業者に限定して発注する考えでいるか。</p> <p>8. ほ場整備事業計画について ほ場の大型化・汎用化を目指したほ場整備事業計画を推進していくとしているが、</p> <p>(1) 令和2年度はどこまで進めるのか。</p> <p>(2) 世界的には、家族経営農業重視の方向で動いている。専業農家数の少ない本町ではほ場整備計画は妥当と考えるのか。</p> <p>(3) 家族経営に対する基本的立場を伺う。</p> <p>9. 水田農業について 「産地交付金」の活用による特色ある産地形成を図り、農家所得の向上を支援していくとあるが、具体的に伺う。</p> <p>10. 工業の振興について 新しい企業進出に対応できる工場用地等の検討も進めていくとしているが、現在、企業進出の動きはあるのか。検討している用地と面積について伺う。</p> <p>11. 大河原中学校体育館建て替えについて 大河原中学校屋内運動場増改築事業設計業務委託料として、45,000 千円が予算化されているが、増改築の概要について。加えて、学校現場や利用する町民の声が反映される設計にするよう、事前の説明が必要でないか。</p>

No.	質問者	質疑事項及び要旨
2 番	万波孝子	<p>12. 文化財の保護と活用について 国登録有形文化財「佐藤家住宅」の活用を図る「佐藤家プロジェクト」の支援も行っていくとある。</p> <p>(1) 町として、専門知識を持つ学芸員の配置は欠かせないと思うがどうか。</p> <p>(2) 町全体の文化財の保存・活用についても重要な役割を担う学芸員を是非確保していくべきでないか。</p> <p>13. たばこ税について たばこ税は本年 10 月に税率の改正が予定されており、増収を見込んでいるとある。</p> <p>(1) 増収なので税率改正を評価していると読み取れるがそうなのか。</p> <p>(2) 町民の命を守る使命をもつ町は、喫煙が及ぼす害からいかに町民を守るか、その事が課題でないか。健全な増収策を国に求めていくべきでないか。</p> <p>14. 総合体育館の指定管理者について 本年度も引き続き「NPO 法人大河原町スポーツ振興アカデミー」を指定管理者としていくとしている。昨年 12 月議会で内部告発の情報があつたとして、出勤記録改ざん問題が取り上げられた。指定している町として、町民に事実を明らかにする義務があると考え伺う。</p> <p>(1) 町長はこの問題をどのように受け止めているか。</p> <p>(2) 町長は実情の説明を受け、その結果はどうだったのか。何が明らかになったのか。</p> <p>(3) 引き続き指定継続するとしているが、今回の件で、活かすべき教訓は何か。</p> <p>15. 職員確保について</p> <p>(1) 免許職・技術職の採用にあたり、望むような人数の応募がない状況にあると言っているが、</p> <p>①免許職・技術職の職種と採用基準について。</p> <p>②採用年齢を拡大する等、採用基準の見直しで解決できないのか。</p> <p>③町内には、退職し培った経験や技術をもった町民がいるはず。こうした町民の力を町づくりに活かしていくべきでないか。</p> <p>(2) 地球温暖化による台風 19 号のような災害は今後も予測され、多発すると言われている。防災担当職員の体制強化は必要でないか。職員適正化計画の見直しで増員対応していくべきでないか。</p>

